

Dialog in Time — From IWATE  
石田貴裕展「WORKS」  
安ヶ平愛美展「満ちてゆく時間 -Time in Its Fullness-」開催のご案内

*“Dialog in Time-From IWATE”Two consecutive exhibitionsexhibition  
“We all still have a long way to go”*

このたびギャラリーヘプタゴンにて Dialog in Time - From IWATE といたしまして、  
石田貴裕・安ヶ平愛美の個展を連続して開催いたします。

本展は、岩手を拠点に活動する二人のアーティストの個展を連続して開催することで、時間を介した対話の場を  
創出する試みです。

「Dialog in Time」というタイトルには、二人の表現が時を隔てて呼応し合い、観る者の中に新たな気づきや  
感覚の重なりを生み出すことへの願いが込められています。そして岩手という彼らの創作の根源にある  
風土や文化、日々の営みへの眼差しを示唆しています。

京都という異なる土地で、岩手から届いた二つの声がどのように響き合い、どのような対話を紡ぎ出すのか。  
ぜひその時間の流れに身を委ね、作品との出会いをお楽しみください。

---

【Dialog in Time - From IWATE vol.1】

石田貴裕個展 「WORKS」

会期 | 2026年3月21日(土)～3月29日(日)

時間 | 12:00～18:00

休廊日 | 3/26(木)

【Dialog in Time - From IWATE vol.2】

安ヶ平愛美個展 「満ちてゆく時間 -Time in Its Fullness-」

会期 | 2026年4月4日(土)～4月12日(日)

時間 | 12:00～18:00

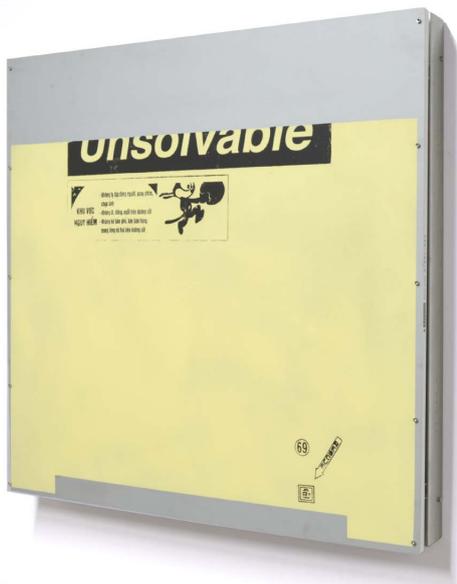
休廊日 | 4/9(木)

会場 | Gallery Heptagon (ギャラリー・ヘプタゴン)

〒602-8175 京都市上京区下立売智恵光院西入中村町 523

TEL : 080-7583-3388 info@heptagonworks.com www.heptagonworks.com





《UNIT-90 unsolvable 02》  
スチール・アルミニウム・ウレタンコーティング  
H900×W900×D105 (mm) 2024



《UNIT-other peace of mind guarantee red》  
スチール・アルミニウム・ウレタンコーティング  
H211×W425×D107 (mm) 2023



《UNIT-50 watch your head Soft shell》  
スチール・アルミニウム・ウレタンコーティング  
H500×W500×D90 (mm) 2024



《copse silver》  
キャンバス・パネル・アクリル絵具・スクリーンプリント  
H280×W395×D22 (mm) 2025



《lanthanum》  
キャンバス・パネル・アクリル絵具・スクリーンプリント  
H1880×W1250×D40 (mm) 2025

**STATEMENT** / 平面絵画から始まった私の制作は、油絵、アクリル絵の具を経て、現在はシルクスクリーンへと移ってきました。本展では、主にシルクスクリーンによる作品群を発表しています。シルクスクリーンは、美術の歴史の中で繰り返し用いられてきた、普遍性をもつ技法であり、版画表現としても馴染み深いものと捉えています。私がこの技法において最も注視しているのは、型の中に納められたインクが、スキージの圧によって押し出され、表面に定着していくその過程です。そこでは、筆で絵の具を塗るときの身体的な動作や感覚が、距離を伴いながらも引き延ばされ、物質を極めてシンプルに、半ば機械的に処理していく感覚が立ち現れます。また、本展ではキャンバスに限らず、鉄の表面も支持体として用いています。素材としての鉄、その表面を成立させるための支持構造にまで意識を向けることで、「表面に触れる」「表面を成立させる」という行為を起点とした制作の方向性を、多角的に見てもらうことを試みました。

## Profile

Press Release  
2026.2/21

石田貴裕 | Takahiro ISHIDA

1988年 岩手県北上市に生まれる。

2009年頃より創作活動を開始。

- 2025 グループ展「アートフェスタいわて2024 ー岩手芸術祭受賞作品・  
推薦作家展+岩手県美術選奨受賞者作品展ー」(岩手県立美術館)  
個展「production process:公開制作の現場から」(諄子美術館, 北上市)  
個展「to the surface」(Gallery 彩園子I, 盛岡市)
- 2024 個展「work on steel」(gCRADLE, 青森市)  
個展「steel and paper」(birdo space, 宮城県塩釜市)  
個展「16 to 24 and Zero」(Gallery 彩園子II, 盛岡市)
- 2023 個展「石田貴裕作品展」(gCRADLE, 青森市)  
個展「set up」(birdo space, 宮城県塩釜市)  
個展「work on paper」(諄子美術館, 北上市)  
グループ展「いわてでえがく いわてでつくる」(岩手町立石神の丘美術館)  
令和4年度岩手県美術選奨受賞
- 2022 個展「NEUTRALS」(諄子美術館, 北上市)  
グループ展「IMAをうつす7人 -岩手の現代美術家たち-」(岩手県立美術館)
- 2021 個展「PARALLEL TRANSLATION」  
(NAKAJIMA ART SPACE, 北上市)  
個展「waltz for manet」(un petit GARAGE, 東京)
- 2020 個展「2020 WORKS」(Gallery 彩園子, 盛岡市)  
グループ展「ミュージアムとの創造的対話03 何が価値を創造するのか?」  
(鳥取県立博物館サテライト会場, 鳥取県倉吉市)
- 2018 グループ展「North Wind Project 2 (Metamorphose)」  
(岩手町立石神の丘美術館)  
個展「KO・DA・MA <響きあう影>」(工房親, 東京)
- 2016 個展(盛久ギャラリー、盛岡市)  
公募展「LANDSCAPE ofN.E.Vol4～東北・北海道の風景」  
(リアス・アーク美術館、宮城県)優秀賞受賞



《古今の松の色などは》  
パネルに石こう、金箔、エッグテンペラ  
変形455×300 (mm)  
2026



《蒼のうつすもの》(左)  
パネルに石こう、銀箔、エッグテンペラ  
1080×450 (mm)  
2024

《碧のうつすもの》(右)  
パネルに石こう、金箔、エッグテンペラ  
1080×450 (mm)  
2024



《しろのうつすもの》  
パネルに石こう、金箔、エッグテンペラ  
1655×655(mm)  
2024

**STATEMENT** / 私の住む北東北の季節の変化は複雑でとても美しく鮮やかです。とくに冬は一見モノクロームのように見えるなりに光の複雑さのような鮮やかな色が隠されていて見飽きることがありません。

冷たい風から守られるようにすべてが雪の下に眠りについたような静謐も、時折現れる陽光が輝きの粒となり生き物の命や人の営みをキラキラと照らしだす瞬間や、月の光が雪に反射して鈍く夜道を灯すどこか時間が止まったような風景、そういったものを重ねて芽吹く春を待ちます。

また、制作に使っているテンペラは木板と石こうで下地を作り、箔を置き、ピグメントを練り上げて絵具を作り、筆を重ねてゆく古い絵画技法です。この技法は時間と手間はかかりますが、積み重ねを表現するのに適していると感じ好んで使っています。金や鉱物のピグメントなどを丁寧に時間をかけて積み上げて、作品に映し出せたらと考えています。

## Profile

安ヶ平愛美 | Ami YASUGAHIRA

- 2004 岩手大学大学院教育学研究科美術教育専修 修了
- 2025 アートフェスタいわて2024 岩手県立美術館  
個展「太陽のかけらFragment of the Sun」 旧石井県令邸
- 2024 個展「日は高く、また遠く」 諄子美術館
- 2023 令和4年度岩手県美術選奨受賞  
19th HoiAn-Japan Culture Exchange  
「Culture Through the Years by Le Ngoc Thuan-Lang cui Lu and Ami Yasuga-hira」 ベトナム・ホイアン  
個展「午睡のほとり」 盛岡Citta
- 2022 個展「Iwateコンテンポラリーアートvol.11-3安ヶ平愛美展」 萬鉄五郎記念美術館・八丁土蔵ギャラリー  
個展「いきもの暦 Biological Calender」 旧石井県令邸  
企画展「賢治に献ずる詩歌」展 日本現代詩歌文学館
- 2021 岩手県花巻市の前林津島神社に十六種の薬花草天井画を奉納。
- 2003年より 個展、グループ展、技法材料のワークショップで活動。